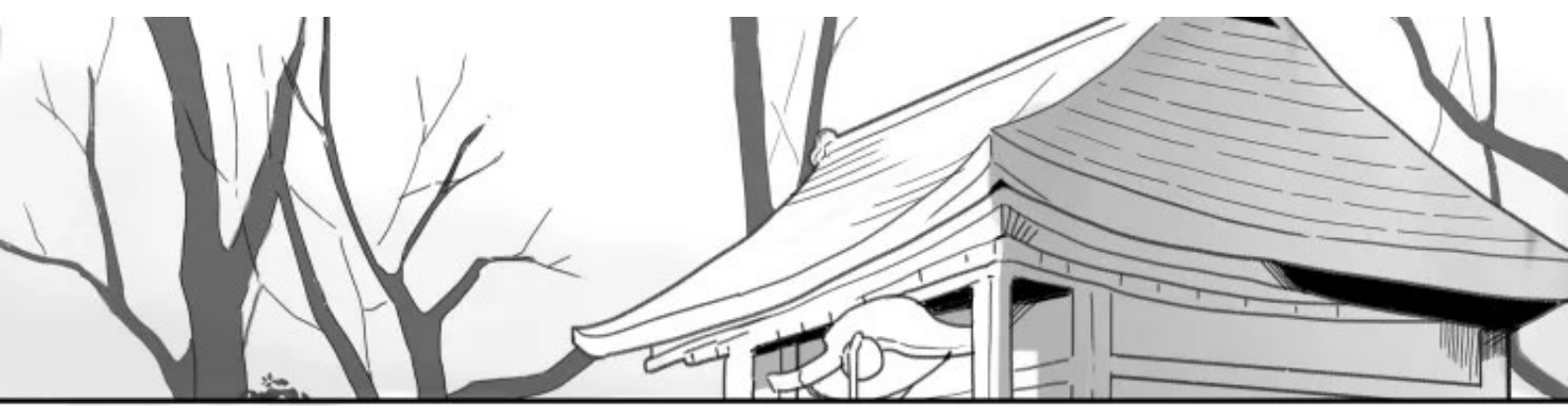




叔母に
初恋の
責任を
取ってもらおう話





やっぱり
ここにいた



ゆい姉…



まだ
拗ねてるの？

風邪
ひいちゃうよ

姉さんも
誠さんも心配
してた

すねてない

……



一緒に帰ろ？



…家についたら
手離してね

わかって
ます

やさしいところが
好きだった



いつも
手をひいて
くれた

さみしいね

でも
それから
ほどなくして



初恋が
叶わないことを
知ったんだ

こんにちはー!!

ガララッ



のび〜っ

いらっしやい
由紀子、誠さん

のり君も
久しぶりねえ

母さん！
ただいま

道路混んでた
でしょう

あゝ
疲れた〜

凄かったよ〜
五時間も
かかったやつた
これかみやげ

あれ？由衣と
怜王くんは？

二人で
スーパーに
行ってたんだよ〜

由衣!

姉さん
ひさしぶり〜!!

由紀子
おばちゃん!

怜王くん
背伸びたねえ

もう
お兄ちゃん
だもん!

のりくんも
久しぶりだね

五年ぶり
くらい?

……ども

由衣あんた

聞いたよ離婚のこと
なんで相談しないのよ

だーって
話したら

姉さん
怒るじゃん

あたりまえ!







母乳をね、
出してたんだ
怜奈の分だけ
だと余るから







のっ のりくん?

どうしたの

ゆい姉はさ

俺の気持ち

気づいてただろ



え

俺が ゆい姉を 好きだって



のりくん 子供だったし...

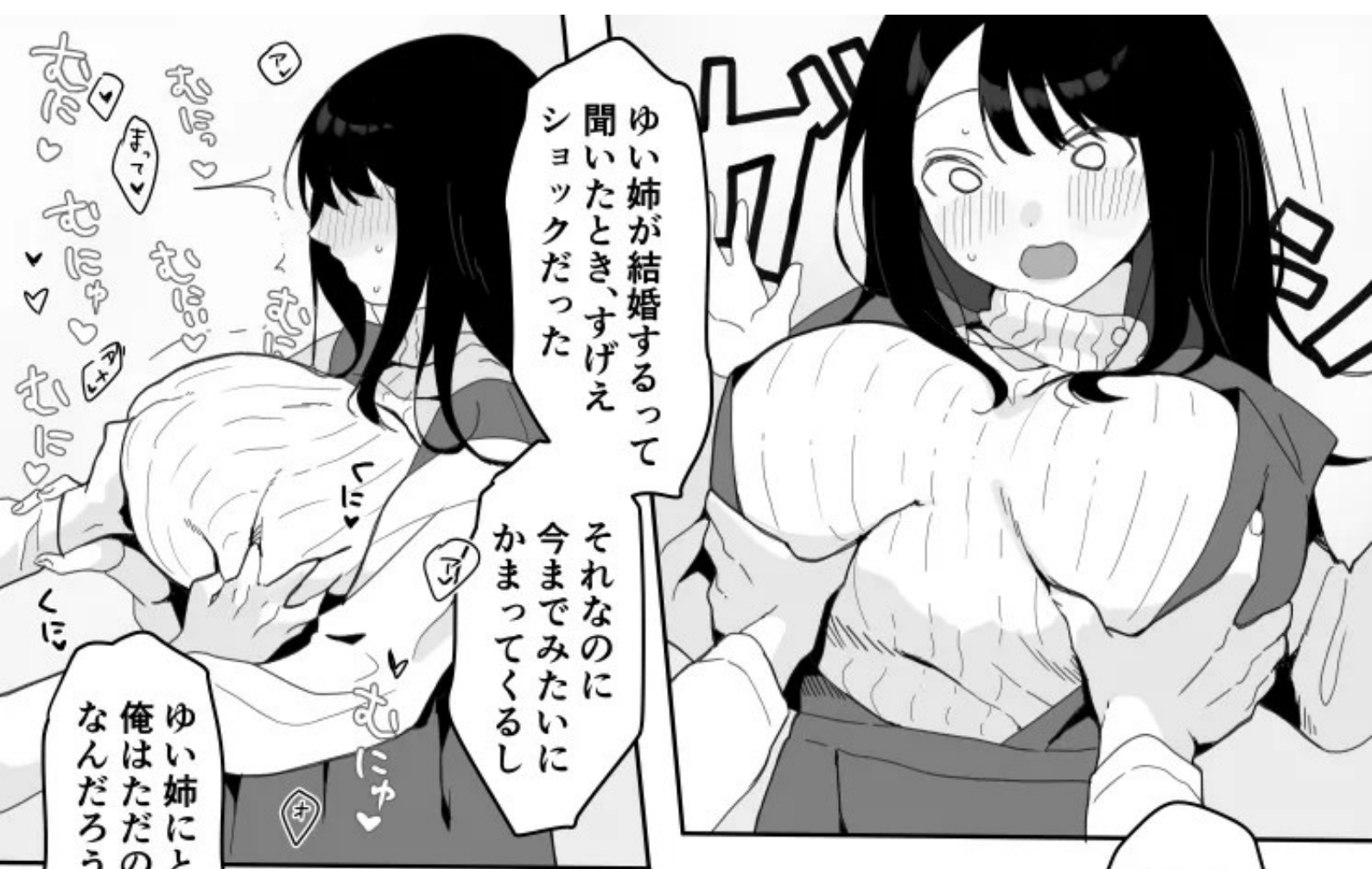
それは...

...うん

からかわれて俺がどう思うか 考えなかったのかよ

今は私のことなんて 何とも思っていないかと...

そんなわけ ないだろ!



ゆい姉が結婚するって
聞いたとき、すげえ
ショックだった

それなのに
今までみたいにか
まってくるし

ゆい姉にとって
俺はただの甥っ子
なんだらうけど

ゆい姉のことが
好きなんだ

忘れようと
したのに
無理だった

十年前から
ずっと……



……

キュン……





凄く
うれしいよ

辛かったね

いじやあ……



そっか……

のりくんが
そんなに私のこと
想ってくれてた
なんて……



今まで……
ごめん



責任は……
とらなきゃね……

ガヤ
ガヤ



あれ？

のりは？

トイレ行く
つつつて
出たぞ

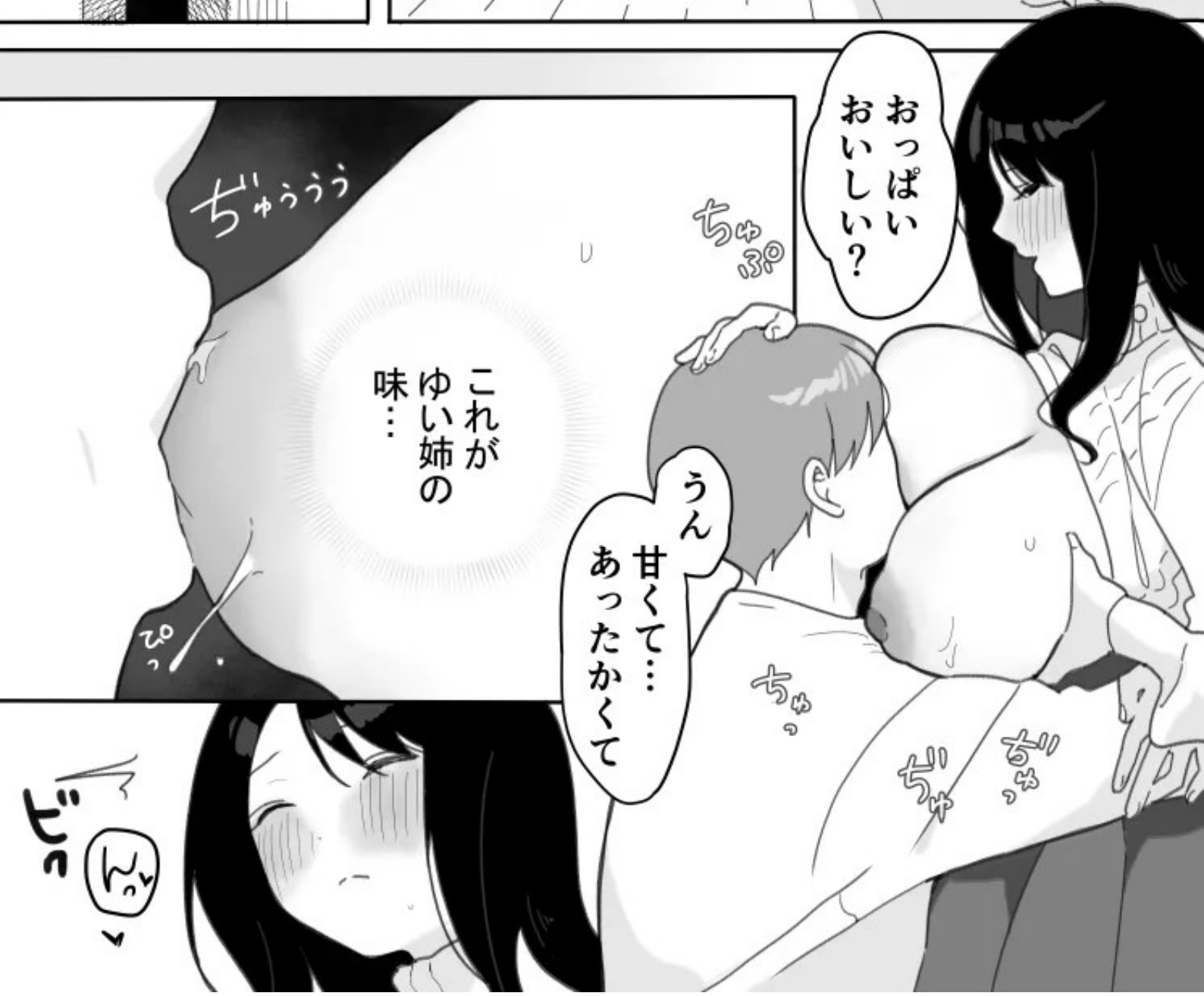
ちよつと
遅くない？

逃げたんだろ

あいつ人見知り
だからなあ…

ニヤッ

ア



おっぱい
おいしい？

うん

甘くて…
あったかくて

これが
ゆい姉の
味…

ちゅうう

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ニヤッ
ニヤッ



出なく
なった...

さつき搾った
ばかりだからね

...もっと
飲みたい?

なら...

むに
むに

ママ
ママ
!!





どうしたの？

ママっ！

あのね
ばーちゃんが
アイスくれるって



ママ
どう？

キョ...

食べていい？



一個だけね


一緒に
食べよ！



それから




はやく！




人目を盗んでは
ゆい姉のもとに行った



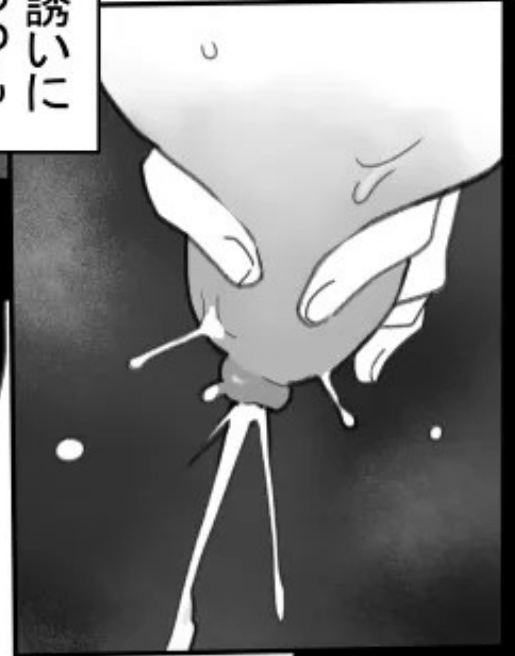
強引な誘いに
あきれつつも



ゆい姉も満更では
ないように見えて



行為はどんどん
大胆になっていった



台所で
トイレで

みんながいる
部屋のとなりで

母乳を搾るのが
俺の役目にな
っていった

このままいけば
きつよ...





ハア：
ハア：

ゆい姉：
俺…ゆい姉と
したい…



ハア
ハア
ハア

ゆい姉の中に
入りたい…
…だめ？



ゆい姉は
したくない？

……

ちゃんと
ゴムつけるし

でも
私たち叔母と甥
なんだよ…

責任とって
くれるんだろ？



！それは…でも

……ダメ

私……子供たちに
顔向けできなくなっ
ちゃう……

……わかった

のりく……

悪かったよ
わがまま言って

のりくん
ごめん……でも

やっぱりそれは
ダメだよ……

ハァッ!

……

ゆい姉





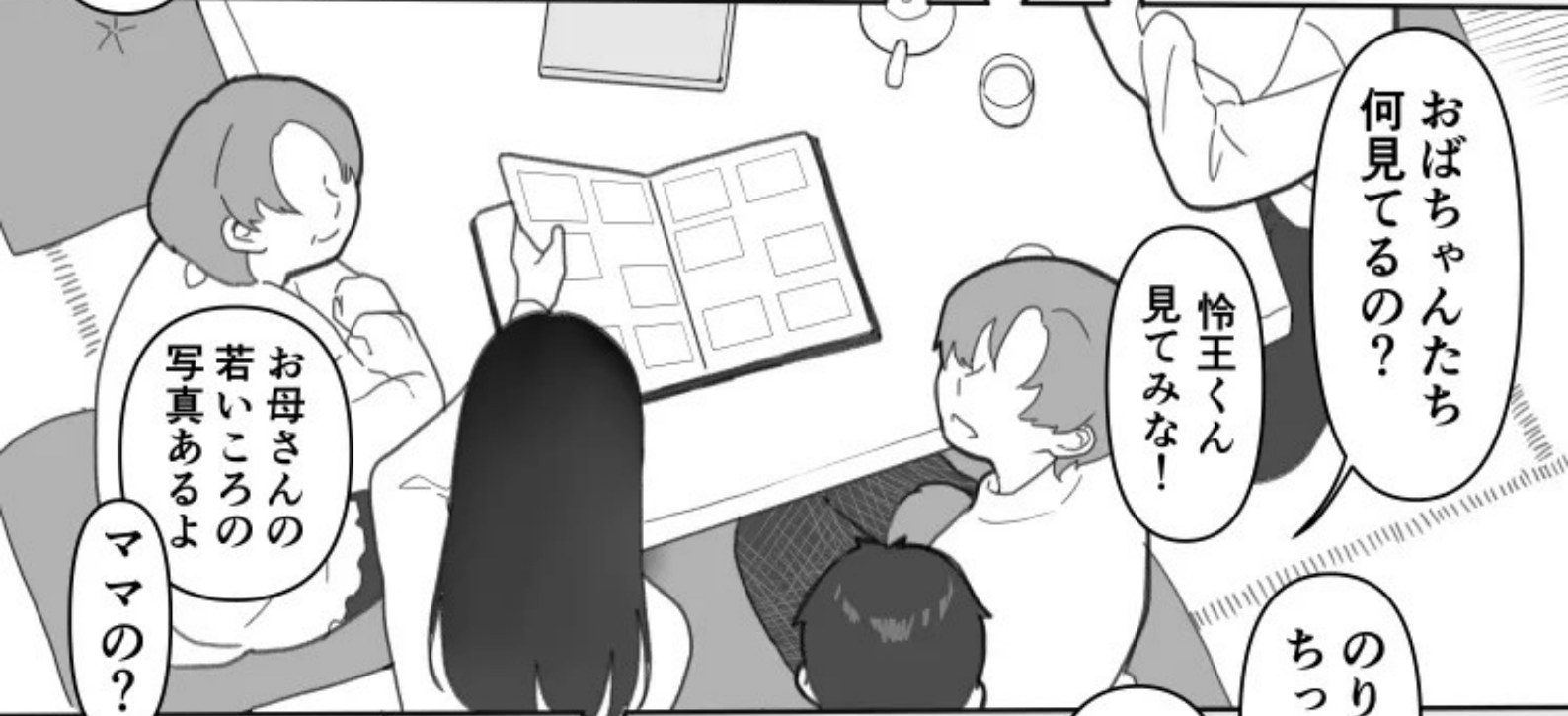
これ6年前とか
じゃない？

うわ
懐かしい！

あ

あんた若っ！

お前だって
同じだろ



おばちゃんたち
何見てるの？

怜王くん
見てみな！

お母さんの
若いころの
写真あるよ

ママの？

のりくん
ちっさ！



ホント
懐いてたよね

...



この頃は由衣に
べったり
だったよね

よく叱られて
神社に逃げてて

由衣が迎えに
行かないと
帰ってこないの！



な〜に
やきもち〜?

心配しないでも
大丈夫!

昔の話よ

ぐしゃ

パッパッ



ズル...

ハー
ハー



ゆい姉

のっのりくん
出たってたんじゃ...

部屋の外にいた

...ずっと?

うん

ほんとは私だって…

ゆい姉だって
したいんじゃないか

だったら
いいだろ？

…それは

ゆい姉

ゴッ

なめて

あ

これ…

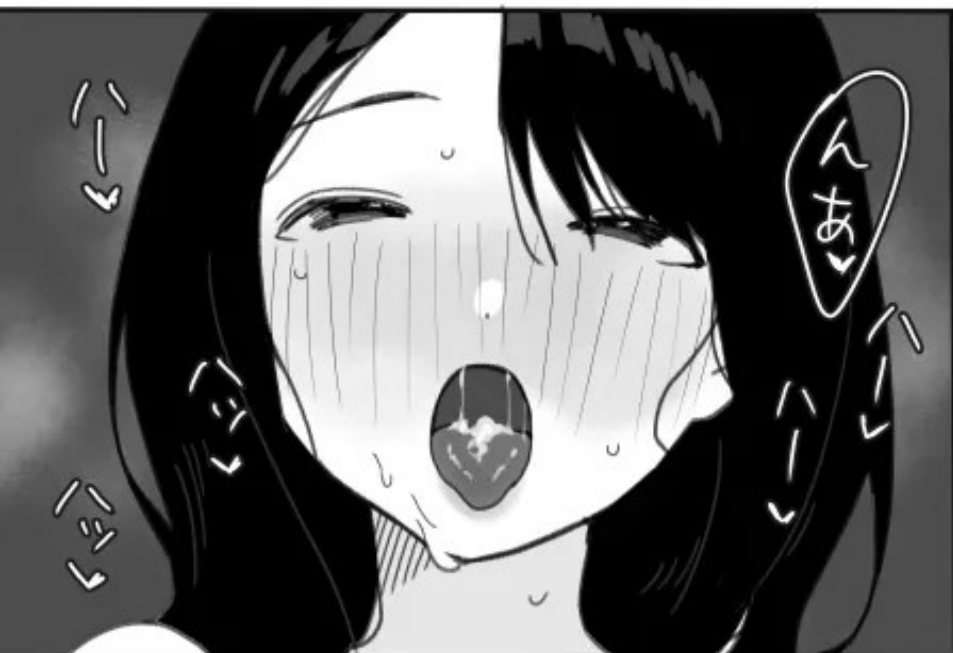
ひさしぶりの
雄のにおい…

フ…

フ…



アッ



ズッ...

アッ

アッ



アッ...

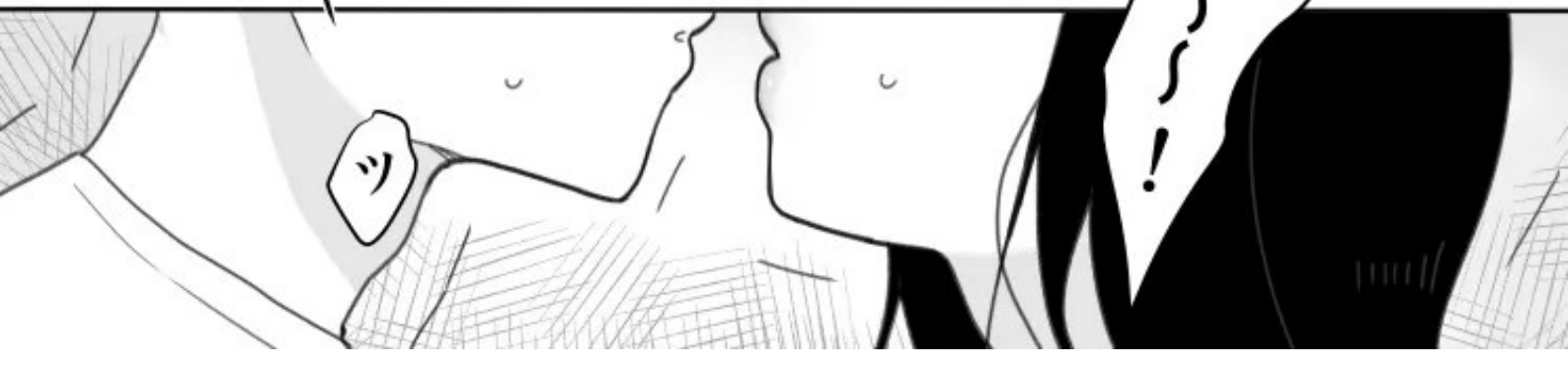


うん...

ゆい姉...



アッ
アッ
アッ
アッ
アッ



ツ

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ



ママ
ママ
ママ...

さっ
さ



だめっ

いっ
っ



見つかっちゃう
から.....

だめ...
今は



なんで

いっ
っ

明日…

昼過ぎに買い物に出るから…

私が家を出たら
のりくんも来て

あの神社で
待ってる

約束

ね

ごめんねえ

任せちゃって



お母さんこそ
大丈夫なの？

私は何も

怜王は由紀子が
相手してくれてる
から



一人で
大丈夫？

平気だって
子供たち見てて
もらってるんだし



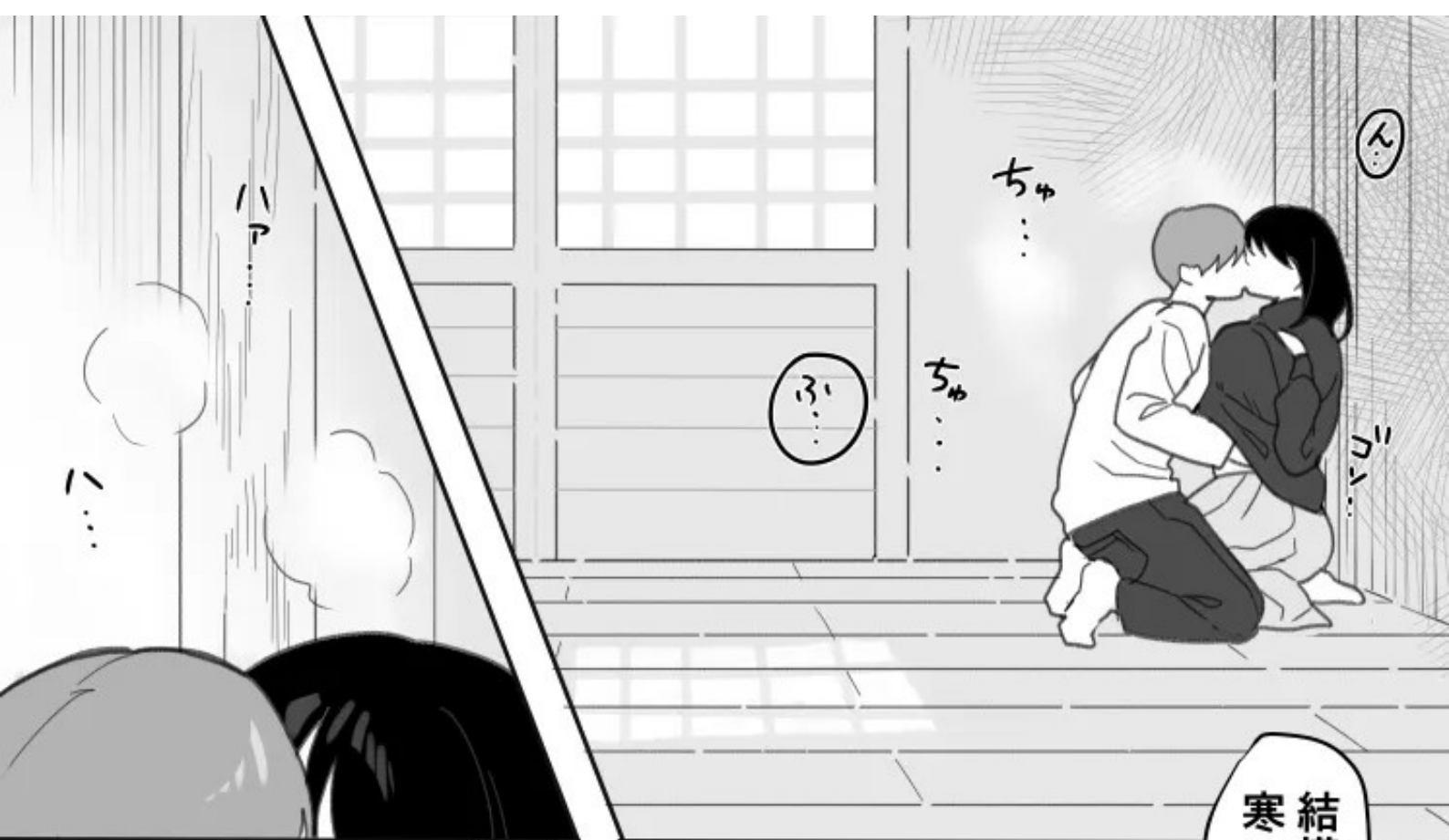
それじゃ
いってきます

フ
ラ



らってらっしやい





結構
寒いね...

一緒
にあった
ため
合おうか

おいで
のりくん

ハア

ハ
サッ



ぎゅ

…ここ
中に入ったのは
初めてだね

のりくんってば
姉さんに叱られると
いつもここに逃げて

泣きつかれて
寝ちゃって

私がおんぶして
帰ったことも
あったっけ

それがまさか
こんなことに
なるなんて

ゆさ

サ

ッ

俺はずっと
こうなりたかった

ゆい姉…
もう…

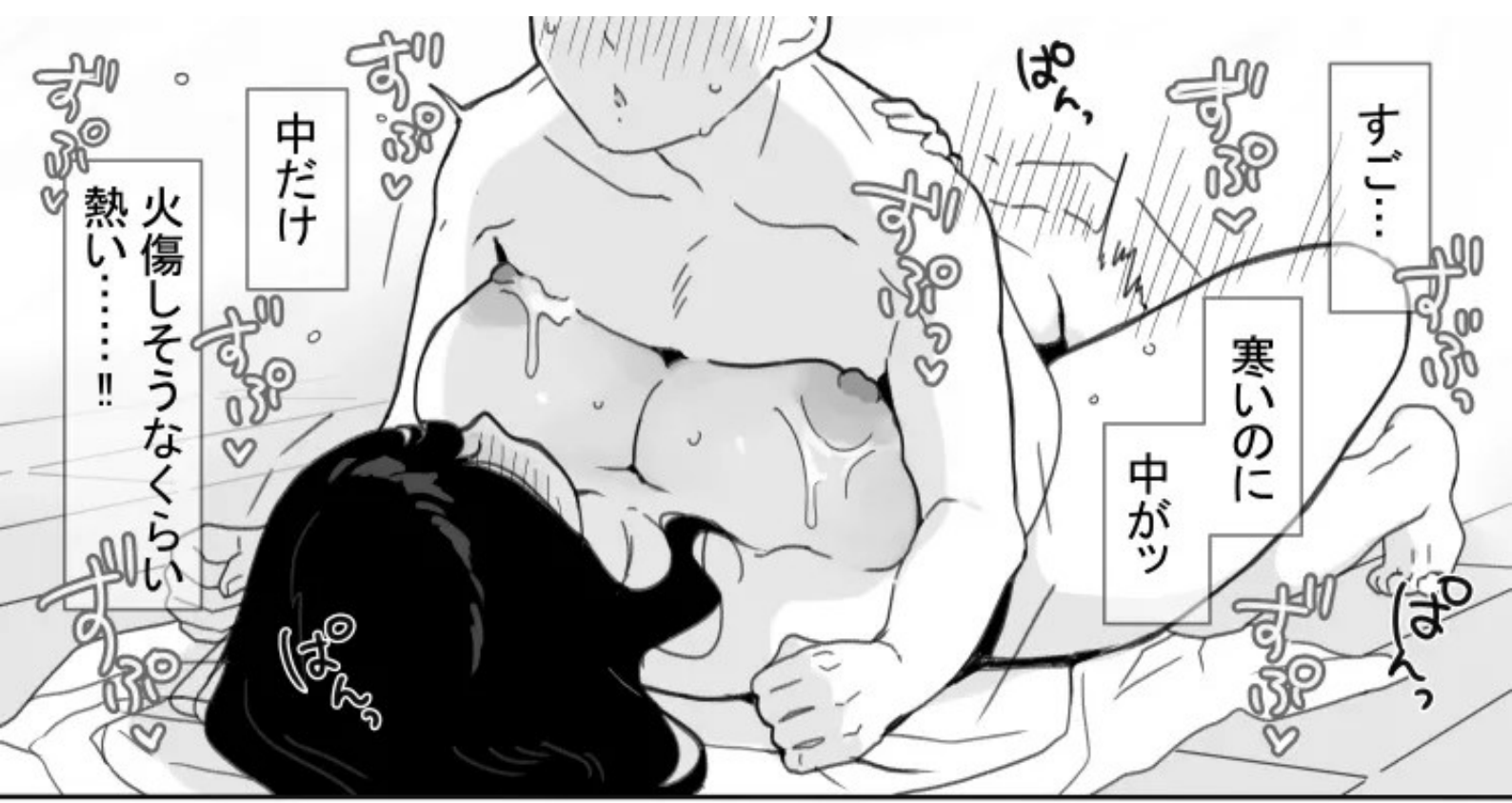
うん、
いいよ…

来て

はよ♡

クク

クク



中だけ

ずっ…

寒いのに
中がッ

火傷しそうなくらい
熱い……!!



感触が
ハッキリ分かる

ムチムチで…ッ
ゼリーみたいだ

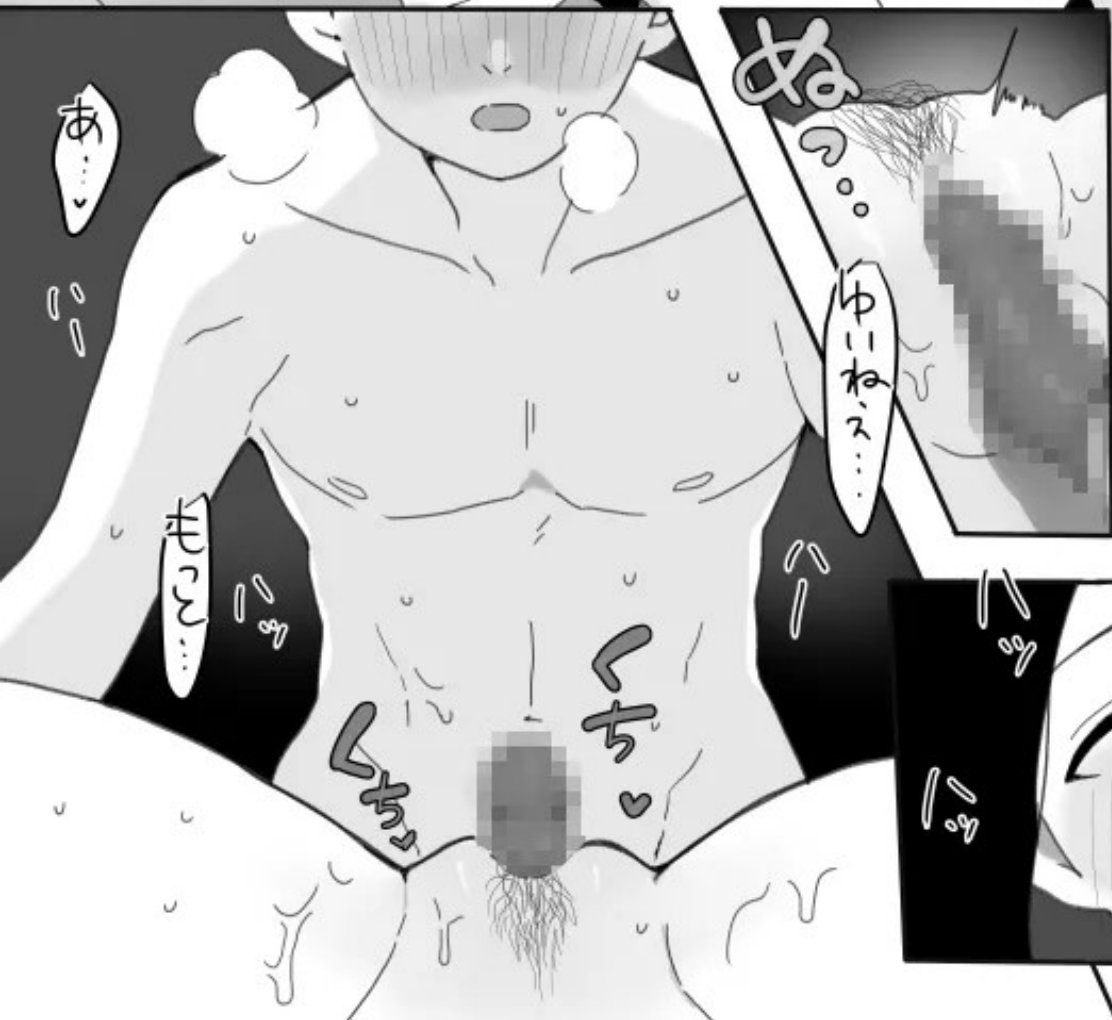
ゆい姉っ

おれっ
もうっ…

私もッ

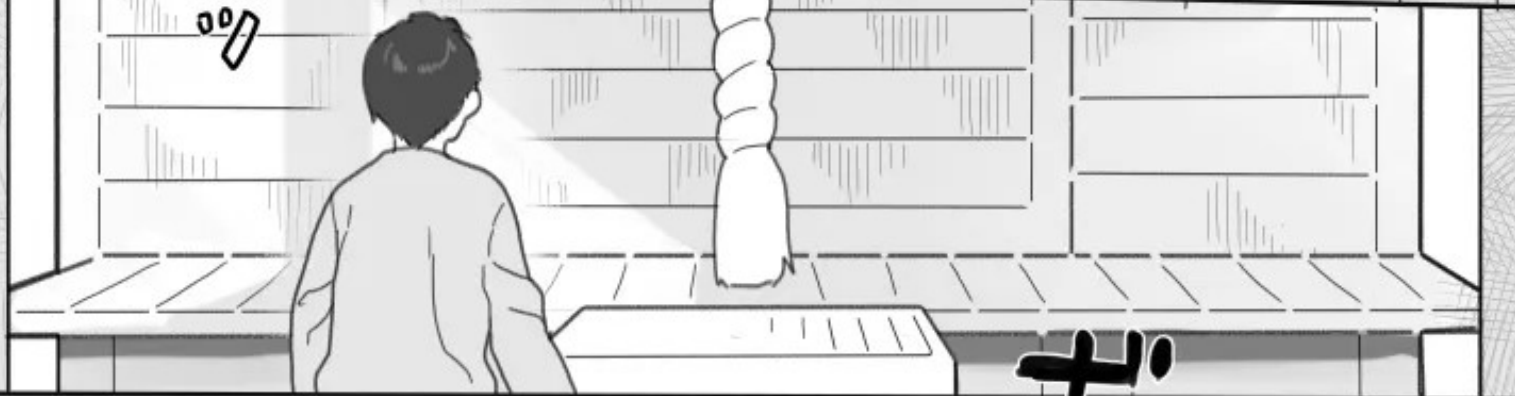
うんっ

一緒に…



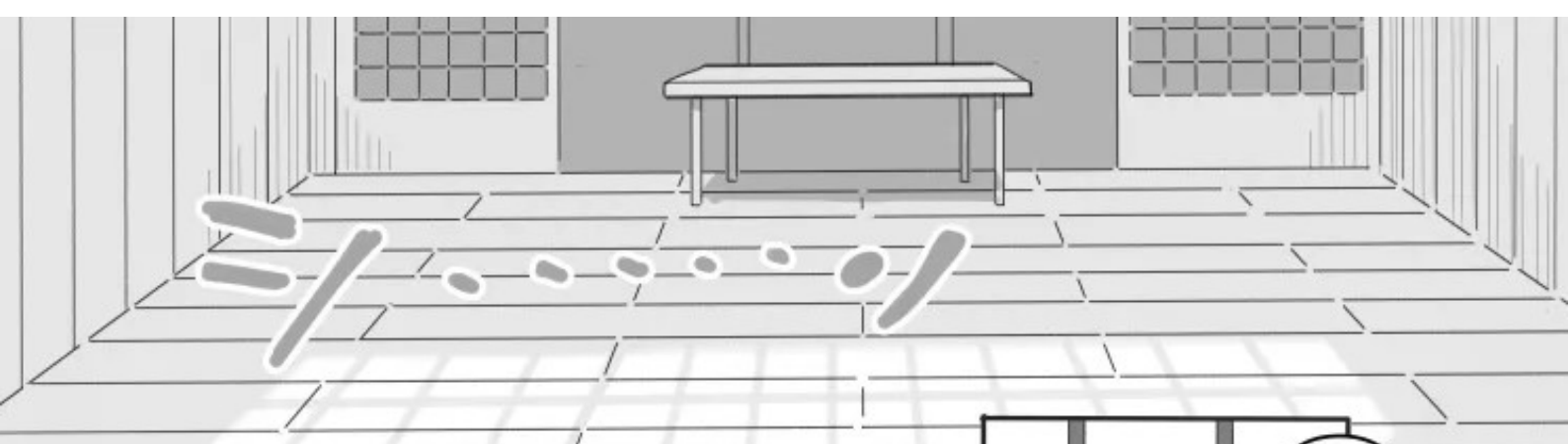






ア







ゆいね…

ちゅっ…

怜王くん



れおくん



怜王くん
どこ〜？

あっ

おばちゃん！



もう
どこ行ってたの！

ママ追いかけた
けどいなかった



勝手にいなくなっちゃ
ダメでしょ！

ほら戻るよ

ちゅ

ん…

ん…

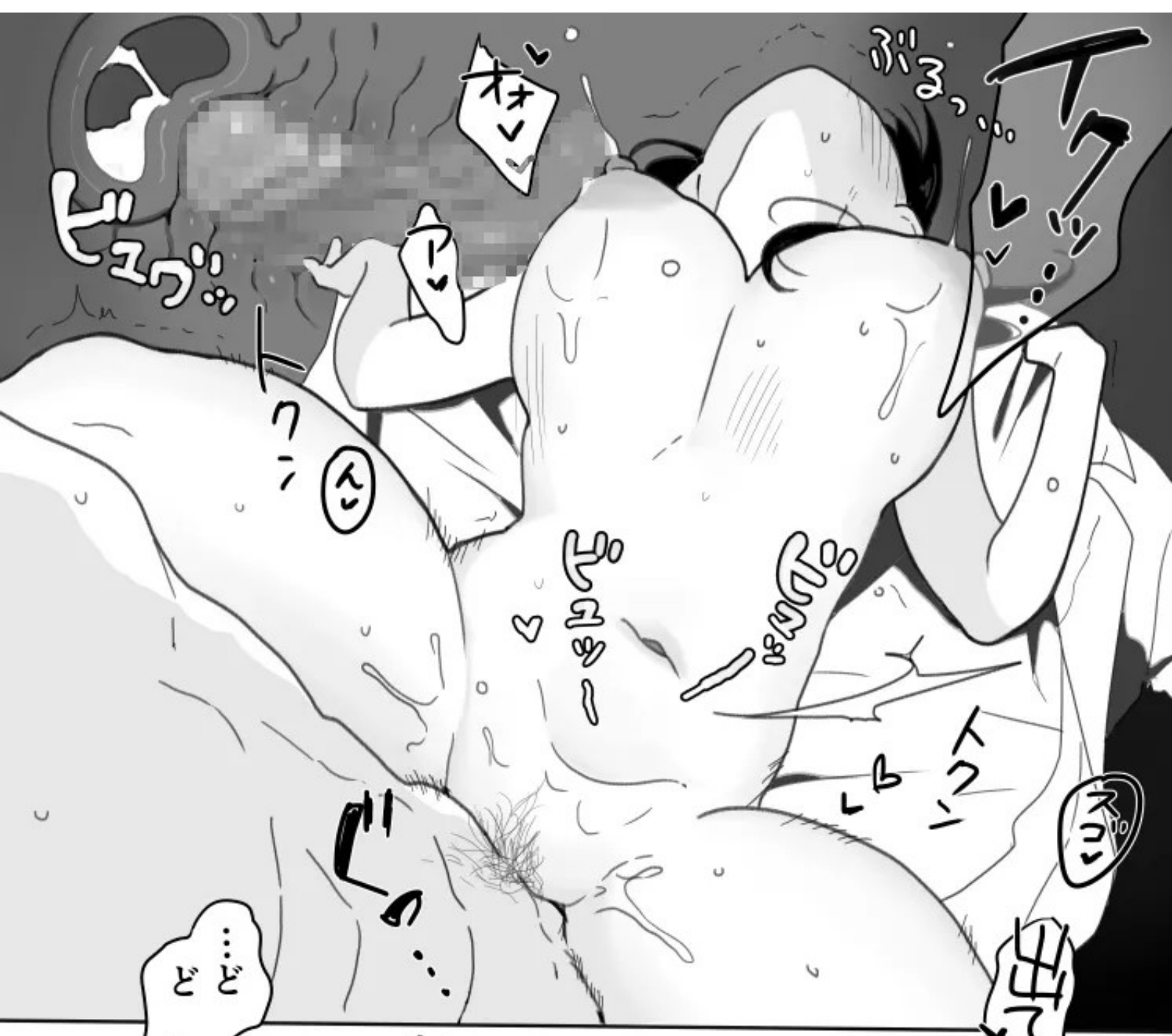
ちゅ

ん…

ん…

ん…

はい





ママ！
おそーい



ただいま〜



ほらっ

わー！
ぼくの好きなやつ！
食べていいの？

ゴメン
ゴメン
ほしい商品が
売り切れてて遠くの
店まで行ってたの



ありがとう！



ゴメン
ゴメン



やっぱり
由衣ねえは
昔のままだ

